

オーディオ実験室収載

タップリベラメンテとフィルタライザーの活用(12)

—アナログ系タップの入れ替え—

1. はじめに

前報(11)までにタップリベラメンテをいろいろと対象を替えて使ってみて効果を見てきました。今回、2台目のタップリベラメンテが到着しましたので、前報(11)までの結果を元に設置個所を決めることにしました。

2. タップリベラメンテとフィルタライザーの設置対象と試聴条件

2台目のタップリベラメンテの設置箇所の候補は次のとおりです。

- ①アナログ系
- ②LAN 系
- ③ディジタル系への追加

それぞれにメリットがありますが、前報(1)および前報(2)の報告のとおり iPhono に使用した場合の効果が大きかったことから①を選択することにしました。

現在のアナログ系はチクマ+パワーリベラメンテを使用していますので、余っているホスピタルグレードのタップと入れ替えます。そしてホスピタルグレードのタップには LP12、Garrado401 および仮想アースの RE-9 を残し、追加したタップリベラメンテから、iPhono×2台の AC アダプター、47 研のフォノイコライザー4718 の専用電源およびプリアンプの電源のパワーリベラメンテを取ることにします。

余ってきたチクマタップは予備に回し、パワーリベラメンテは MYTEK DIGITAL 192-DSD の電源用に回します。さらに、追加したフィルタライザーは iPhono×2台用に固定し、フォノイコライザー4718 の専用電源ケーブルにフィルタライザー模造自作品に巻きますと、最終的に次のような効果が期待されます。

- ①アナログ再生系は、タップリベラメンテとフィルタライザーの効果が期待される。
- ②すべての再生系でプリアンプの電源に関してタップリベラメンテの効果が期待される。
- ③すべてのデジタル再生系で MYTEK DIGITAL 192-DSD の電源に関してパワーリベラメンテの効果が期待される。

反面、LAN 系とデジタル系への追加は後回しとなりますが、追って検討していく予定です。

3. タップリベラメンテとフィルタライザーの試聴結果

アナログ系では、前報(1)、前報(2)および前報(3)における iPhono と 47 研のフォノイ

コライザー4718 の結果が再現され、さらにプリアンプの電源に関するタップリベラメンテの効果が加わって、変な言い方ですが、ますますアナログらしい音になってきました。47 研のフォノイコライザー4718 のグレードが上がったことから LP12 の Ortofon Royal N の方に常時接続とし、iPhono は Garrido401 の EMT XSD-15 から EMT STX-20 経由の方に常時接続とします。

デジタル系では、プリアンプの電源に関するタップリベラメンテの効果と MYTEK DIGITAL 192-DSD の電源に関するパワーリベラメンテの効果が加わっており、ソフトで温かみのある音になってきました。

4. まとめ

アナログ系では、当初目的としたタップリベラメンテとフィルタライザーの効果が実現されました。さらに副産物として使い回しの突出し効果でデジタル系の音まで変ってきました。

以上